種類別明細書の書き方

○ 資産の種類　1.構築物　2.機械及び装置　3.船舶　4.航空機　5.車両及び運搬具　6.工具、器具及び備品

○ 資産の名称等　資産の名称及び規格等をカタカナで記載してください。

○ 数量　アラビア数字で記載してください。

○ 取得年月　資産を実際に取得した年月を記載してください。年号については、1.明治、2.大正、3.昭和、4.平成、5.令和とし、それぞれの年号に対応する数字を記載してください。

○ 取得価額　償却資産を取得するために通常支出すべき金額（当該償却資産の引取運賃、荷役費、運送保険料、購入手数料、関税、据付費、その他当該償却資産を事業の用に供するために直接要した費用を含む。）を記載してください。また、法人税法及び所得税法の規定による、いわゆる圧縮記帳については、償却資産の評価上認められておりませんので、当該圧縮額を含めた実際の取得価額を記載してください。

○ 耐用年数　減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表第1、別表第2及び別表第5から別表第9までに掲げる耐用年数を記載してください。

○ 減価残存率　申告の手引P14の減価残存率表に掲げる当該減価残存率を記載してください。

○ 申告年度　当該資産について最初に申告した年度を記載してください。

種類別明細書記載例

次の種類別明細書記載例及び申告の手引により記載してください。

1.種類別明細書（増加資産・全資産用）

令和３年度

種類別明細書（増加資産・全資産用）

※所有者コード	※	所有者名	1枚のうち1枚目
		株式会社○×	

新規	修正	行番号	資産の種類	資産番号	資産の名称等	数量	取得年月 年号	年	月	取得価額(イ)	新耐用年数	新減価残存率(ロ)	旧耐用年数	旧減価残存率(ハ)	価額(ニ)	課税標準の特例 率	コード	※課税標準額	増加事由	摘要
②	3	01	5		ショベルローダー	12	5	02	05	5,000,000	4	0.781			3,905,000				①・2・3・4	

第二十六号様式別表一（提出用）

○ 増加資産及び前年度に申告されなかった資産または全資産を申告するときは２を、前年度に申告されてその資産の内容に修正が必要なときは３を○で囲んでください。

○ 資産番号 ……新規②による異動については記載する必要はありません。ただし、修正③があるときは別添種類別明細書（プルーフリスト）の資産番号を必ず記載し、修正を必要とする欄のみ記載してください。

○ 増加事由……1.新品取得、2.中古品取得、3.移動による受入れ、4.その他のいずれかに該当する番号を○で囲んでください。

○ 価額は次の算式によって計算した償却資産の価額を記載してください。

① 前年中に取得した資産　取得価額×半年償却における減価残存率（申告の手引P14の減価残存率表中のⒶの欄）

② 前年前に取得した資産　取得価額×半年償却における減価残存率×１年償却における減価残存率（表中Ⓑの欄）$^{n-1}$

（注）nは、当該償却資産を取得した日から前年までの経過年数をいいます。